

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	学年	1学年
教科書	高校生の音楽1（教育芸術社）		副教材等				

1 学習の目標

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・技能を身に付け、自己のイメージを持って音楽表現をしたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることに活用し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	歌唱表現 校歌 日本歌曲 器楽表現 リズムアンサンブル ギター 創作表現 言葉と旋律の関係 鑑賞 物語と音楽の関わり	・内子高校の校歌を覚え、教育活動における校歌斉唱で豊かな大きな声で歌えるようにします。 ・日本歌曲を強弱やアーティキュレーションなどに気を付けながら歌えるようにします。 ・基礎的な楽譜の読み方について学び、実際に他者とリズムアンサンブルをすることを通して、リズム感を養います。 ・ギターでコード演奏ができるようにします。 ・日本語の抑揚と旋律との関わりについて、実際に単旋律を創作しながら学びます。 ・短編アニメ映画を鑑賞し、物語の各場面とBGMがどのように関係しているかを学びます。	
第2学期	歌唱表現 ドイツ歌曲 器楽表現 和楽器 創作表現 編曲 鑑賞 日本の伝統音楽	・ドイツ歌曲特有のはっきりとした発音や、言葉のアクセントと旋律の関係などについて学びます。 ・和楽器の基本的な奏法について学びます。 ・タブレットで音楽創作ができるようにします。 ・歌舞伎舞踊の音楽の特徴を理解します。	
第3学期	歌唱表現 イタリア歌曲 日本歌曲 器楽表現 フレキシブルアンサンブル 鑑賞 ミュージカル	・イタリア歌曲特有の母音や子音の発音や、語句同士をなめらかにつなぐ発声などについて学びます。 ・言葉の抑揚や発声に気を付けながら、イメージを持って歌えるようにします。 ・自分たちで考えた編成と楽曲でアンサンブルします。 ・ミュージカル映画を鑑賞し、総合芸術の魅力について学びます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

音楽の基礎的な知識と、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自己のイメージを持って音楽表現をしたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすることができている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に活動に取り組み、積極的に音楽文化に幅広く関わろうとしている。

4 評価方法

上記の3つの観点から、実技テストや演奏発表、小テスト、ワークシート、学習活動への取組などをもとに、総合的に評価します。

5 学習のアドバイス

表現活動では、自己のイメージを持って、そのイメージを相手に伝えようと努力しましょう。鑑賞活動では、根拠のある批評をしましょう。また、どの分野においても、他者の意見を受容する姿勢で取り組みましょう。日頃から多様なジャンルの音楽に興味を持ち、積極的に触れ合うことが大切です。